

# 令和5年度 脇町小学校学校評価アンケート（児童・保護者）集計結果の考察

2月初旬実施の、令和5年度学校評価アンケートの集計結果についての考察です。  
別途ホームページに掲載している

- ・「R5保護者アンケート集計結果.PDF」
- ・「R5児童アンケート集計結果.PDF」
- ・「R5学校関係者評価委員からの意見.PDF」

と合わせてご確認をお願いいたします。

## 【アンケートのまとめ方】

(1) 対象 児童・保護者

(2) 調査の概要

- ・学校評価オンラインアンケート（2月中旬実施）
- ・集計と分析……2月中旬～2月下旬
- ・回収数 { 児童 257  
保護者 151

(3) 結果の考察

① 児童及び保護者アンケートの全校集計結果はグラフで表してあります。  
その上で、次のように「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合を基に4段階で次のように判断しています。

{	90%～100%	→ 十分満足できる状態
	70%～90%未満	→ 満足できる状態
	50%～70%未満	→ やや課題がある状態
	50%未満	→ 課題がある状態

② 自由記述においてのご意見は内容が非常に多岐にわたるため、代表的な意見を記載しています。

## 各アンケートの結果の考察

### 児童アンケート

- ・設問2～6，設問16の結果からは，児童が相互に望ましい人間関係が築けている様子が伺える。中でも設問5では，昨年度と比べ肯定的意見が6%程度増加するなど，学校全体として取り組んできたポジティブ行動支援の成果が感じられる。
- ・設問7～15においては，ほとんどのアンケート項目で肯定的な意見が70%をこえているが，設問7のみ肯定的な意見が70%未満となっている。表現力の育成に取り組む必要性が感じられる。
- ・設問17～21においても，肯定的意見は概ね80%をこえており，基本的な生活習慣の定着が図られている様子が伺えるが，設問22に関しては，昨年度の結果と比較して肯定的意見が8%少ない結果となった。

児童アンケートの結果からは，児童は学校生活全般について概ね満足できる状態にあることが判断できる。しかし，「学校は楽しい」「友だちとなかよくできている」の項目については，肯定的な回答が100%になるように取り組みの改善を図る必要性がある。特に人間関係の面では，それらの児童に対する支援を，家庭とも連携しながら進める必要性がある。

### 保護者アンケート

- ・設問2～6の結果からは，児童アンケートでの結果同様に，児童が望ましい人間関係を築いている様子が伺える。昨年度と比べても同程度の肯定的な回答が得られており，概ね満足できる状態と判断できる。
- ・新設項目の設問2「お子さんは自分のいいところを分かっていますか」の回答状況と，児童アンケートの設問5の「いいところをみつけている」の回答状況からは，自らの「いいところ」について多くの児童が意識できている様子が感じられる結果となっている。
- ・設問7～11の結果からは，基本的な生活習慣が育まれている様子が感じられる。
- ・設問12～20についても，肯定的な意見が概ね80%をこえており，学校の教育活動に対する理解が得られていると判断できる状態だといえる。
- ・設問21については，児童が安全な学校生活を送ることができるよう，美馬市教育委員会との連携を深めていきたい。

保護者アンケートでは，学校の教育活動全般について概ね満足できるという回答が寄せられている。昨年と比較しても数%の増減はあるが，回答の傾向は同様となっている。教職員と保護者が互いに情報共有しながら意見交換をし，児童の「いいところ」を見つけていくことで，引き続き児童の自尊感情を高めたり，思いやりの心情を育んだりすることに繋げたい。

なお，本年度より，アンケートの実施方法を紙によるマークシート方式からWEBアンケート方式へと移行した。その初年度ということもあってか，有効回答数は151応募に留まり（例年は200回答前後），如何にして有効回答数を増やすか，次年度に向けて改善を図っていきたい。